

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	明石市立きらきら		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動スペースが十分にあり、集団活動や個別活動、個人の様子に合わせて柔軟に使うことができる環境が整っている。</li> <li>パーテーションや机、カゴなどを活用し、構造化し、活動・個人の様子に合わせて環境を整えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整った環境の中で支援ができるよう整理整頓を心掛けている。清掃や準備片付けを職員で協力しながら行なっている。また、衛生面も意識し、換気や消毒なども行なっている。</li> <li>個人の好みや特性に合わせて活動の準備や個別対応の準備を行なっている。</li> <li>どこで何をするのか、どこに何を置くのか分かるよう、お子様が自分で見て分かる視覚提示を意識し、環境を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に安心して過ごすことができるよう環境を整えている。</li> <li>衛生面にも気をつけ、より一層換気や消毒なども行い、安全・衛生の管理にも努めていく。</li> <li>お子様の特性や状況に合わせて環境を整えることができるよう、観察や環境の見直しを行い、柔軟に対応していく。</li> <li>新入職員もが活動スペースを最大限に活用できるように伝えていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の資質向上に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な職員研修だけでなく、お子様への支援や保護者支援についての内部研修を行っている。</li> <li>外部研修にも積極的に参加し、伝達研修を行っている。</li> <li>クラス職員や管理職、相談員などの多職種で連携し、お子様や保護者の方へより良い支援ができるように心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は定期的に研修日を設け、ケース検討会など様々な研修を行っていく。</li> <li>社会情勢や利用されているお子様・ご家族の課題に合わせた研修を検討し、研修内容の充実を図る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1部は、親子療育のため、療育中に保護者の方の困りごとやニーズなどを聞き取りをすることができる。また、お子様への関わりに関しても、保護者の方と一緒に対応をすることができる。</li> <li>2部は、保護者の方に送迎をして頂いているため、顔を合わせてその日の療育の話をしたり、日々の困りごとなどの話をする事ができている。また、お子様の療育中の様子を見学をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1部、2部どちらもお子様が主体性をもって行動できるように活動を提供したり、関わりをすることを心掛けている。</li> <li>1部では、親子療育のため、保護者への気持ちに寄り添いながら支援を行なっている。保護者の方からご相談を頂いたり、様子を見て、個別面談を行なっている。</li> <li>2部では、所属園の様子を聞き取り、日々の療育での関わりをしたり、活動内容を調整している。保育所等訪問を利用している方は、訪問員と連携をとって、日々の療育を行なっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方が前向きに子育てができるように、お子様の成長や頑張りなどを日々共有したり、保護者の方の悩み事などに対して一緒に考えていく。また、保護者の方が気軽に相談しやすい雰囲気作りをしていく。</li> <li>お子様や保護者の方により良い支援ができるように、相談支援員や保健師、他事業所、所属園と連携をしていく。</li> <li>保護者学習会やパパの勉強会・交流会、ひまわりっこクラブ(きょうだい児支援)の開催を引き続き行い、保護者に情報提供をしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>産休・育休、退職などで職員が不足している。有給休暇者や急な欠勤者が重なり、丁寧な支援が難しいことがある。</li> <li>求人募集は出しているが、応募者は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業柄、女性雇用率が高い職場であるため、結婚や出産のため、退職や産休・育休の率が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページに掲載する等、求人方法を工夫する。</li> <li>退職や産休・育休を取得することを視野に入れた人員配置をする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1部は、親子療育のため、様々な家庭の事情から利用を断念する方がいらっしゃる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明石市の西にあり、最寄り駅からも遠い場所にあり、車を運転されない保護者の方もおられる。</li> <li>きょうだい児いらっしゃる方は、きょうだい児の預け先がないと言われる方がいる。</li> <li>保護者の方がお仕事をされており、親子療育に通うことが難しいことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>託児の実施や交通手段や障害児(者)通園費についてなどを周知していく。</li> <li>保護者の方のお仕事の都合で、きらきら1部の利用が難しい方は、お子様の様子を見てあおぞら園を勧めていく。また、年中からは単独登園の2部があることも紹介をしていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2部は、基本的に地域の所属園との並行通園となっているため、地域交流をする機会が少ない。1部に関しても、低年齢かつ親子療育のため、園内で様々な経験を重ねることをねらいとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様や保護者の方が地域で過ごしやすい環境を作ることができるように、お子様の所属先や進路先と情報共有を行なっていく。</li> </ul>